

生きづらさを抱える少女たちに寄り添う居場所づくり

お宝No.382 (一社) 京都わかさねっと

お宝No.278 HOSTEL NINIROOM

「お宝No.」とは？
「まちづくり・お宝バンク」に登録
されている提案番号です

生きづらさを抱える少女の支援や居場所づくりを若草プロジェクトinKYOTOとして取り組んでこられた京都更生保護女性連盟から、これからは更生保護の枠を超えて支援の輪を広げるべく、一般社団法人京都わかさねっとを新たに立ち上げられました。そしてこの度、同じまちづくり・お宝バンク提案者のNINIROOMさんと連携し、子供の未来応援基金未来の応援ネットワーク事業採択団体として「わかさカフェ」がスタートしました。

【わかさカフェでできること】

場所：HOSTEL NINIROOM

■「わかさカフェ」毎週火曜日15時～18時

- ・誰かに聞いてほしい話がある
- ・誰かとたわいもない話したい人、女の子には無料の飲み物を提供しています。

■「お昼寝」毎日10時～18時

部屋を一室空けています。心を休めたい・安心して過ごしたい・眠ったりできる場所がほしいという人のための時間です。

■毎日12時～18時：簡単な食事や生活用品の提供をしています。



ひとりでゆっくりしたいとき、または誰かと一緒にいたいとき、更生のための後押しをするのではなく、そっと寄り添うような居場所、自由に立ち寄れる居場所としてオープンされています。

また、HOSTEL NINIROOMさんのnoteでも、この事業を始めるきっかけなどが綴られていますのでぜひご一読ください。

広報協力も実現しています

まちづくり・お宝バンクには、現在も様々な提案をいただいております。私たちコーディネーターが提案者さん同士を紹介することもあります。今回は、京都わかさねっとさんが作成された、Hostel NINIROOMでのわかさカフェについて書かれたカードパンフレットの設置協力者を探しているとのことで、同じまちづくり・お宝バンク提案者さんにも協力していただけました。京北にある「えがおの家」と、NPO法人チャイルドライン京都さんが運営する「格致つどいの広場」（下京区）に配架していただいています。

★わかさカフェカードの配架協力者はまだまだ募集しております！



やわらかい配色のカードのデザインも、(株) NINIさんによるもので、「わかさカフェ」のフォントにもこだわって作成されています。

「国境のないお家」来春開所に向けて動き出しています！

お宝No.345 伊藤裕子



道路に面したガラス張りの元店舗で、春の開所に向けて準備中です。

防音クッション壁は、SNSの呼び掛けで集まった布を使って手作りされています。



クラウドファンディングで見事目標を達成した「国境のないお家」伊藤裕子さんの取組が、また一歩前進しました。

クラウドファンディング前から物件探しに奔走しておられましたが、無事ご縁がたがり物件が決まったとのことで、南区の「国境のないお家」物件を見させていただきました。

しばらくは英会話教室として運営をしながら、来春には英語を活かした子供のスペースや国際交流の拠点にしていきたいそうです。

また、南区でのまちづくり活動は初めてのとのことだったので、南区唐橋学区でhappiness*caféやハビネスこども食堂をされている地域の先輩・ボランティア団体ハビネス宇野さんにも繋ぎ、今後の活動の情報交換や仲間づくりにも協力していただいています。さらに、「いろんな本を置きたいなあ」という伊藤さんの希望を叶えるべく、チーム「居場所いいばしょ」岡田さんにもご協力いただき、「ことしよ」設置に向けて動いていただいています。

京北「わらしべの家」から→「えがおの家」へ 新たな拠点として活動開始！

お宝No.380 えがおの家

普段生活をおくるなかで、「悩み」というほどでなくても、漠然と「話を聞いてもらえたらな…」と思われることはないでしょうか。

傾聴を大切にして、お悩み相談や地域の居場所づくりをされている「えがおの家」さん。悩みを相談する際に、相手からアドバイスをされるのではなく、ただひたすら聞いてもらうことで少し楽になることもあるかもしれません。

京北にある古民家「えがおの家」を拠点に、親子をテーマにした活動に取り組まれています。現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため大人数でのイベントを控え、月2回「グリーンレンジャー」として清掃活動をおこなったり、会員向けに無料オンラインお悩み相談も受け付けています。



団体名も「親子えがお基金実行委員会」から「えがおの家」に変更されました

【えがおの家ホームページ】 <https://egaokids.jp/>

ラジオでまちづくり情報発信中

お宝No.373 立命館大学 20坂田ゼミ

立命館大学産業社会学部 20坂田ゼミ学生のみなさんが、Radio Mix Kyoto にて毎週生放送でまちづくり情報をお届けしています。主に北区をフィールドに、地域福祉、文化産業、観光をテーマにする3チームの学生さんが、ラジオを活用して調査研究をしています。聞き逃し配信もされていますので、ぜひお聞きください。

エンディングでは、まちづくり・お宝バンクの取組提案紹介もしてくださっていて、様々な取組提案についての感想などもお話ししてくださっています。

【じもラジで紹介していただいた まちづくり・お宝バンク取組提案者】

- ・西喜商店 近藤さん…10月の食品ロス削減の日に合わせて活動紹介
 - ・パトラン京都 鳥本さん…北区で実施されるパトランのお知らせ
 - ・NPO法人おおみやぼくじょう…福祉車両でのタクシー業務について紹介
 - ・(株)サポートどれみ…車椅子レンタル、車椅子での観光ガイドについて紹介
 - ・松浦雄志さん…「喫茶フィガロ冬の文化祭2020」参加のお知らせ
- 1月以降は、チーム居場所いいばしょ「ことしよ」、みんなの居場所制作委員会「おいでやす食堂」を紹介予定です。



【Radio Mix Kyoto 「じもラジ」】 <https://radiomix.kyoto/programs/programs-21224/>

2021年2月未だ毎週水曜日放送しています！

メディア取材のマッチングも行っています！

NHK京都放送局
ニュース630「京いちにち」の食品ロス削減を取り上げたコーナーにて、西喜商店さんと花園教会水族館さんの連携を取材していただきました。



京都リビング新聞の特集でも、高齢者福祉施設西院の取組を素敵な記事にいただきました。



まちづくり・お宝バンク取組提案も12月1日現在で384件となり、様々な課題に取り組まれたり、魅力発信や掘り起こしをする多彩な活動を紹介しています。

最近は、取材のお問合せを受けることもあり、先方の取り上げたいテーマに合った京都市の取組やまちづくり・お宝バンクの提案者を紹介させていただくことも増えました。サイトを訪れた方に、提案者の最新活動情報が見いただけるように、進捗記事もなるだけ更新するようにしています。

先日もテレビ局からの電話取材を受けた際に、「実はいつもまちづくり・お宝バンクを拝見しています！」と仰っていただけたことは（真偽は別として…）ありがたいことでした。コーディネーターが表に出ることはありませんが、紹介した取組提案者さんがメディアで取り上げられている記事や番組を嬉しく拝見しています。

今後も、様々な情報を更新していきますので、ホームページの注目記事や進捗記事など、[まちづくり・お宝バンクの最新情報](#)もぜひご覧ください。

また、まちづくり・お宝バンク取組提案者の方々に、「最近の活動はどうですか？」「協力相手を探しておられまして」といった連絡や相談を差し上げると、みなさんがいつも丁寧に対応してくださることに感謝しています。来年も引き続き、どうぞよろしく願いいたします☆